

令和7年10月3日

保護者 様

丹波篠山市立味間小学校

校長 浅田 智広

本校では、本年度の全国学力・学習状況調査（6年生対象）および丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（5年生対象）の結果をもとに、下記のとおり「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。今後の授業や学習方法に生かしていきたいと思います。内容をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対してご支援をお願いします。

記

令和7年度 丹波篠山市立味間小学校 学習や生活に関する学力向上プラン

【調査結果の概要】 調査項目 6年生…国語科、算数科、理科学習状況調査、生活習慣状況調査

5年生…国語科、算数科学習状況調査、生活習慣状況調査

全体的な状況
全国学力・学習状況調査（6年生対象：国語科・算数科・理科） 学習面 国語科→読み取る資料が少ない問題は落ち着いて前後の文章を読み取り正答率が高い結果でした。 しかし、3つ以上の資料が関連してくると読み比べることに課題が見られました。 算数科→生活に密着した内容の問題について全国平均と同程度にできていました。しかし、問題の文意を正しく捉えることができず誤答している問題があり文章読解に課題が見られました。 理科→既習した内容の実験であれば長文でも問題を落ち着いて読み、正答の言葉を選ぶことができていました。しかし、電気や金属の分野が苦手だったり、言葉を間違えて記憶したりしている部分で誤答が目立ちました。 生活面 ・全国値と比較して「成功体験と自信」、「充実感と向上心」、「感動体験」、「先生のささえ」、「発信力」「対話・話し合い」の観点が高く、前向きに取り組んだり受け止めたりできることが分かりました。 ・課題としては、「学習習慣」が全国値と比較して唯一低い観点でした。

子どもたちに必要な力と学校における取組

【国語科】①読書習慣を定着

②話の中心に即し、明確に自分の考えを説明できる表現力

- ・常に机の中に本を入れ、隙間時間に読書をする習慣を付けていきます。
- ・条件を設定し文章を書く機会を習慣化していきます。
- ・スピーチや班活動を通して、話の中心を明確にして自分の考えを発表する機会を増やします。

【算数科】①基本的な計算能力

②問題の文意を正確に捉える

- ・朝スキルを活用し、過去の学年で学習した計算問題に取り組み、基本的な計算能力を高めます。
- ・文章に印や線を引き、何を尋ねられているのかを明確にします。

【理科】①実験・観察を生活に繋げる

②復習の時間の確保

- ・実験・観察は何を追求するためにしているのかを確認し、生活に密着できる部分を大切にしていきます。
- ・前学年の復習も大切にしていきます。

【生活面】①学習習慣の定着

- ・様々な学習方法を伝え自分に合ったやり方を知ることで、前向きに学習に向かえるようにします。

保護者の皆様にご協力していただきたいこと

① 家庭学習の習慣化を

全国平均と比較し、家庭での学習時間が短い傾向にあります。授業の予習・復習を含む家庭学習を大切にし、家庭学習時間（低学年30分、中学年45分、高学年60分）をめやすに学習習慣（計画を立てて学習する力、落ち着いて学習に向かう姿勢）がつくようなご家庭での雰囲気づくりや声掛け等をお願いします。

② 本に触れる時間を

初めて読む文章でも理解できる読解力が求められています。学校でも「朝の読書」に取り組んでいますが、ご家庭でも読書の時間や読む本と一緒に選ぶ機会をお願いします。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査(5年生対象:国語科・算数科)

学習面

国語科→「漢字を読むこと」や「話し手が伝えたいことの中心を捉えている」がよくできていました。「内容の中心を明確にし、自分の考えの理由や具体的な事例を書いている」や「段落の役割を理解して文章を書くこと」にやや課題が見られました。

算数科→「角の大きさ」や「いろいろな形」の問題については、正答率が高い結果でした。「わり算計算のきまり」や「折れ線グラフと表」「変わり方調べ」の問題についてはやや課題が見られました。

生活面

- ・良いところとしては、「本当につらいことがあったとき先生に相談ができる」、「クラスや友だち同士の話し合いで意見を発信できる」、「朝食を食べることや、早く寝などの生活習慣」などのことがあげられます。
- ・課題としては、「友だちからほめてもらう」や、「予習・復習や読書などの学習習慣」などがあげられます。

子どもたちに必要な力と学校における取組

【学習全般を通して】

主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを目指して、「聞き返しのある授業」に取り組みます。授業の中で、子どもたちが疑問に思ったことや自分の考えを積極的に伝え合う場面を設定し、「わかった」「できた」を育む学習集団づくりに努めます。

【国語科】①漢字や語彙力などの基本的学力

②話の中心に即し、明確に自分の考えを説明できる表現力

- ・朝読書の充実や、熟語の意味調べの時間をとるなど、語彙力を高めるように取り組みます。
- ・物語や説明文を読む際、資料や本文をどのような視点で読み取っていくのかを意識してトレーニングさせていきます。
- ・スピーチや班活動を通して、話の中心を明確に自分の考えを発表する機会を増やします。

【算数科】① 基本的な計算能力

②データ(資料)の活用や、必要な情報を取り出し処理する力

- ・朝スキルを活用し、過去の学年で学習した計算問題に取り組み、基本的な計算能力を高めます。
- ・文章に印や線、図示して説明するなど、ペアやグループで説明し合う機会を増やします。
- ・問題文や表やグラフなどから、必要な情報を整理し、自分の言葉で説明する機会を授業の中で意図的に取り入れます。

【生活面】①主体的に学習する態度の育成

- ・様々な学習方法を伝え、自分に合った学習方法を知り、前向きに学習する態度を身に付けます。

保護者の皆様にご協力していただきたいこと

①規則正しい生活習慣を

「早寝・早起き・朝ごはん」特に児童が就寝時刻を守り、すっきりとした目覚めでしっかり朝ごはんを摂るようにお願いします。また、ゲームや SNS、動画を利用している時間が全国平均と比較して長い傾向にあります。もう一度ご家庭での利用のルールを確認していただきますようお願いします。

②家庭学習の習慣化を

全国平均と比較し、家庭での学習時間が短い傾向にあります。授業の予習・復習を含む家庭学習を大切に、家庭学習時間（低学年30分、中学年45分、高学年60分）をめやすに学習習慣（計画を立てて学習する力、落ち着いて学習に向かう姿勢）がつくようなご家庭での雰囲気づくりや声掛け等をお願いします。

③本に触れる時間を

初めて読む文章でも理解できる読解力が求められています。学校でも「朝の読書」に取り組んでいますが、ご家庭でも読書の時間や読む本を一緒に選ぶ機会をつくっていただけたらうれしいです。

④家庭での対話を

お子様の学校での出来事や学習内容などについて、積極的に聞いていただき、親子でのコミュニケーションの時間を確保していただけたらうれしいです。